

令和 2 年度  
公益財団法人 新日本宗教団体連合会  
事業報告書

自 令和 2 年 4 月 1 日  
至 令和 3 年 3 月 31 日

# 目 次

◆概況 .....	1
◆公益事業 .....	1
◆管理部門 .....	7
◆総支部 .....	11
・北海道 .....	11
・奥 羽 .....	11
・東 北 .....	12
・北関東 .....	12
・首都圏 .....	13
・北 陸 .....	14
・中 部 .....	14
・近 畿 .....	14
・中 国 .....	15
・四 国 .....	15
・九 州 .....	16

# 公益財団法人 新日本宗教団体連合会

## 令和2年度事業報告

### 概況

令和2年度も、新宗連『定款』第3条に掲げる「この法人は、信教の自由の精神を高揚し、宗教団体の公益性を支援することにより、豊かな人間性の涵養とより良い社会の形成に寄与し、もって世界平和の実現に貢献する」を目指し、諸事業を推進した。

また、新宗連の4つのスローガン「信教の自由を守ろう」「信仰心を広めよう」「宗教協力を進めよう」「世界の平和に貢献しよう」のもと、『定款』第4条に掲げる「信教の自由の尊重及び擁護、宗教団体の宗教活動の推進、宗教団体相互の協力によるより良い社会形成の推進」そして、「世界平和」の実現に向けて、具体的活動を実施した。

### 【重点課題】

- (1) 一人ひとりが信仰心を深めるとともに、より多くの人々に信仰の尊さを広め、宗教心と信仰心が尊重される社会づくりを推進した。
- (2) 新宗連の結成精神である「信教の自由」をはじめ「基本的人権」「国民主権」「平和主義」など、自由かつ主体的な宗教活動を支えている日本国憲法の改正問題を注視し、一人ひとりが一票を投じる「国民投票」に対する理解を深め、対応を図った。
- (3) 「すべてのいのちを尊ぶ世界」の実現に向け、緊迫する国際情勢や地球環境問題を注視し、宗教者、宗教団体、新宗連等ができる社会貢献活動について検討を進めた。
- (4) 次世代を担う宗教青年の教化育成に力を入れ、世代を超えてより多くの青少年の信仰心を醸成した。

### 【新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大防止対策について】

令和2年度は、上記の活動方針及び重点課題を基に諸事業を計画したが、新型コロナウイルス（COVID-19）の影響により、令和2年2月下旬以降、政府や自治体からの要請と感染症対策の基本に則して不要不急の活動自粛、感染拡大防止に努めた。同年7月に開催した第30期第7回理事会では、感染予防対策等を考慮した令和2年度事業計画の変更事項等を確認。8月以降は、政府が発出する「緊急事態宣言」の有無にかかわらず、安定的な治療法等が確立され、安心、安全が確保されるまでは原則として書面による通知（表決）やオンラインでの運営方針を定めた。

以上のような方針の転換により、例年とは異なる事業の推進ならびに予算執行となった。

### 公益事業

宗教団体が公益活動を自由かつ円滑に行えるよう、信教の自由の尊重と擁護、宗教団体個々の利益を超えた青少年の健全な育成及び豊かな人間性の涵養、不当な差別又は偏見の防止等を通して、より良い社会形成の推進に関する調査研究及び普及啓発活動を行った。

#### ◆講座及びセミナー等の開催

- (1) 令和2年度第1回オンライン学習会

日 程	令和2年8月6日
会 場	オンライン
テ ー マ	政府のコロナ対応緊急支援策と「政教分離」「信教の自由」 ～宗教法人の助成金・給付金・協力金受給の課題～
講 師	石村耕治／白鷗大学名誉教授

内 容 政府の新型コロナウイルス緊急支援策における宗教法人への対応が、憲法における「政教分離」「信教の自由」と照らし合わせどのように判断ができるのか、これまでの事例や他国の事例を聞きながら学んだ。

参加人数 43人

(2) 第32回教団人セミナー (Part I / Part II)

日 程 Part I 令和2年11月30日 / Part II 令和2年12月16日

会 場 オンライン

テ ー マ 新型コロナ禍における宗教活動について

Part I 「感染防止対策事例を学ぶ」

講師：二階堂孝 / 佼成病院副院長 (新型コロナ外来担当)

Part II 「集会所・家庭での感染対策を学ぶ」

講師：高橋明美 / 佼成病院看護師 (感染管理室)

内 容 専門家による講義を通して、新型コロナウイルス感染予防対策についての医学的見地を学ぶとともに、参加者からの質問に対しての回答を得ることで、各教団の行事運営の安全性向上、活発化ができるよう見識を深めた。また、加盟教団間で各々の感染対策について情報交換を行い、今後の対策の一助とした。

参加人数 Part I 35人 / Part II 24人

(3) 同推協・拡大テーマ研修会

日 程 令和3年3月9日

会 場 オンライン

テ ー マ 利害によって表出した新型コロナ差別

講師 松村元樹 / 公益財団法人 反差別・人権研究所みえ 常務理事兼事務局長

内 容 新型コロナウイルスの感染拡大により、感染者のみならず医療従事者やその家族への差別や偏見が深刻になっている現状を理解し、どのように対応すべきか、会員信徒へどのように啓発すべきかを学んだ。

参加人数 38人

※公益目的事業 ア：講座、イ：セミナー、コ：人権啓発 に該当する事業

◆機関紙・インターネット等による広報

(1) 「新宗教新聞」の発行 (年4回)

(令和2年度、第1面の主な記事)

8月号 第55回「戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典 (8.14式典)」

10月号 第31期第2回理事会、令和3年度事業大綱を承認

新年号 理事長年頭所感「信仰の力と光」未来につなぐ

2月号 第31期第3回理事会、東日本大震災から10年

(2) 新宗連ホームページの定期更新

(3) 新宗教新聞WEB版「Headline」の定期更新

※新型コロナウイルスの影響に対して、岡田光央理事長による声明を4回発信した。また、文化庁宗務課、日本宗教連盟等から提供があった各種情報の周知、共有に努めた。

※公益目的事業 ウ：インターネットによる情報提供、エ：機関紙の頒布 に該当する事業

◆地域に根ざしたより良い社会の形成に向けた活動

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から不要不急の活動については基本的に自粛し

た。また、地域により感染予防に配慮して規模の縮小やオンラインを活用し、より良い社会の形成に向けた事業を実施した。

※詳細は P.11～P.17 を参照。

**※公益目的事業 オ：普及啓発 に該当する事業**

◆青少年育成に関する活動

青少年の健全育成、信仰心の醸成を目的とし、新日本宗教青年会連盟（新宗連青年会）を通して、「8.14 式典」「青少年育成セミナー」等の各種事業を実施した。

(1) 第 55 回「戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典（8.14 式典）」

※新日本宗教青年会関東連盟を中心に運営

日 程 令和 2 年 8 月 14 日  
会 場 国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑（東京都千代田区）  
式 次 第 主催者あいさつ : 宮本泰克／新宗連青年会委員長  
新宗連代表あいさつ: 岡田光央／新宗連理事長（代読）  
教団別礼拝（首都圏在住の加盟教団青年と教団代表者）  
平和へのメッセージ: 加盟教団青年代表者  
平和の祈り

参 列 者 約 20 人

※ライブ配信を通しての参加を呼びかけ、2,000 人以上が視聴・参加した。

(2) 第 9 回青少年育成セミナー

日 程 令和 2 年 11 月 8 日  
会 場 オンライン  
テ ー マ 国民皆信仰～真の平和を生み出す青年リーダーの育成  
内 容 事前に青年会役職者に依頼した「新型コロナ禍における宗教教団の青年部活動についてのアンケート」の結果を踏まえ、小グループに分かれ、意見・情報交換を行い、最後に全体共有をした。この中で、各教団・個人の具体的な取り組みや思いが語られた。

参 加 者 約 15 人

(3) 第 10 回沖縄慰霊平和使節団（事前）学習会

日 程 令和 3 年 1 月 31 日  
会 場 オンライン  
テ ー マ 知らなかった！OKINAWA 琉球・沖縄歴史の旅  
講 師 金城リンダ／沖縄ナビゲータ  
内 容 沖縄と南米にルーツを持つ講師から、沖縄の歴史、特に戦中・戦後の状況などについて学んだ。また、講師が海外で沖縄の歴史を語る中での気付きから、戦争を語り継いでいく際には、生存者も犠牲者であるとの認識を持つ重要性等について話した。

参 加 者 約 20 人

※第 10 回沖縄慰霊平和使節団は、令和 3 年 2 月に派遣予定であったが、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み中止した。

(4) 各種会合の開催

○委員会（5 月 29 日、6 月 8 日、7 月 21 日、8 月 13 日、11 月 7 日、令和 3 年 1 月 13 日）

※うち 5 月は書面表決と意見聴取、その他はオンライン。11 月は拡大委員会として全国 11 連盟の代表者が出席した。

(5) 新宗連国際救援金への拠出

- 「令和2年7月豪雨」に対する各団体への新宗連国際救援金からの寄託にあたり、青年会から支援金を拠出した。  
※「◆宗教相互の理解と対話の促進（3）新宗連国際救援金の運用と活用」P.6にも記載
- (6) 地方連盟・県（地区）委員会の活動  
※以下、新宗連青年会の各種会議・行事への参加については省略
- 北海道連盟  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を自粛
- 奥羽連盟  
・役員会等（6月30日 書面表決、令和3年2月 紙上開催）
- 東北連盟  
・役員会（11月15日 オンライン）  
・情報交換等（随時）
- 北関東連盟  
・8.14式典への奉納金呼びかけ（6月～8月14日）  
<包括県委員会>  
○茨城県委員会  
・会議（6月21日、9月13日）※いずれもオンライン
- 関東連盟  
・委員会（7月10日、8月4日）※いずれもオンライン  
・第55回「8.14式典」の運営協力（8月14日 千鳥ヶ淵戦没者墓苑）  
・懇談会（令和3年1月29日 オンライン）
- 北陸連盟  
・ユースフォーラム2020の諸調整  
※令和2年6月に開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、令和3年度に延期した。
- 中部連盟  
・常任委員会（4月5日、5月30日、9月19日、11月28日、令和3年2月6日）※いずれもオンライン  
<包括県委員会>  
○愛知県委員会  
・会議（4月11日、6月9日、7月14日、9月8日、10月13日、11月10日、12月8日、令和3年1月19日、2月16日、3月16日）※いずれもオンライン  
○静岡県委員会  
・会議（4月19日、5月24日、6月7日、6月21日、8月2日、9月13日、10月12日、10月15日、10月28日、11月26日、12月19日、令和3年1月16日、2月28日）※いずれもオンライン  
○三重県委員会  
・会議（令和3年1月24日 オンライン）
- 近畿連盟  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を自粛
- 中国連盟  
・会議（7月12日、10月18日、令和3年3月14日）※いずれもオンライン
- 四国連盟  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を自粛
- 九州連盟

- ・ 常任委員会（令和 3 年 1 月 24 日 オンライン）
- ・ 第 48 回原爆殉難者慰霊祭（8 月 8 日 長崎原爆落下中心地公園）  
※長崎県宗教者懇話会主催、内容・人員縮小で開催

**※公益目的事業 カ：青年育成 に該当する事業**

◆調査研究活動

(1) 専門委員会による調査研究

「信教の自由」、宗教法人の社会的役割等に関する情報収集と提言案作成を目的とし、下記の通り専門委員会による調査研究を実施した。

○信教の自由委員会

「信教の自由」と政教分離に関する調査研究と情報収集を行った。また 7 月 21 日、安倍晋三首相に対し、力久道臣委員長名で「靖国神社の『公式参拝』に関する意見書」を提出した。11 月 11 日には靖国神社を訪問し、参拝と懇談を行った。

委員会（9 月 18 日、11 月 16 日、令和 3 年 3 月 17 日）

※いずれもオンライン。この他、7 月 15 日にオンライン懇談会を開催した。

※8 月 6 日に宗教法人研究会と共催でオンライン学習会（「◆講座及びセミナー等の開催」P.1～に記載）を開催した。

○企画委員会

宗教法人が直面する諸問題に関する調査研究と情報収集を行った。「第 32 回教団人セミナー」の詳細について企画立案した。

委員会（9 月 14 日、10 月 30 日）※いずれもオンライン

○会計委員会

公益法人及び宗教法人会計に関する調査研究を行った。理事会の要請により、平成 31 年度決算書案および令和 2 年度予算原案を作成するとともに、法人全体の運営に関わる資産管理を行った。

委員会（6 月 23 日、11 月 26 日、令和 3 年 2 月 4 日）※いずれもオンライン

○政治委員会

宗教団体が直面する政治課題についての調査研究と情報収集を行った。

委員会（9 月 23 日、11 月 10 日、令和 3 年 3 月 17 日）※いずれもオンライン

○宗教法人研究会

宗教法人と公益性、宗教法人税制、労働法制等について調査研究を行うとともに、参加対象を加盟教団全体に広げ、信教の自由委員会と共催でオンライン学習会（講座及びセミナー等に記載）を、8 月 6 日に開催した。

幹事会（8 月 25 日、11 月 16 日、令和 3 年 3 月 16 日）

※いずれもオンライン。この他、7 月 9 日にオンライン懇談会を開催した。

○同和推進連絡協議会

不当な差別又は偏見の防止及び根絶を目的とした同和問題、人権問題について調査研究を行った。令和 3 年 3 月 9 日に、拡大テーマ研究会（講座及びセミナー等に記載）を行った。また、対外活動として、部落解放・人権研究所、大阪希望館、「支縁のまちネットワーク」等への支援、協力活動、『同和問題』に取り組む宗教教団連帯会議（「同宗連」）、同和問題にとりくむ大阪宗教者連絡会議（大宗連）等の活動への参加と協賛を行った。定例協議会（9 月 29 日 書面表決、12 月 17 日、令和 3 年 2 月 3 日 オンライン）

○憲法研究会

「信教の自由」、政教分離原則に抵触する諸問題を中心に憲法改正の動向について調査研究を行った。

研究会（9 月 23 日、11 月 10 日、令和 3 年 3 月 17 日）※いずれもオンライン

※各回とも政治委員会と合同で行った。

(2) 関係団体をとおしての調査研究

この法人の目的達成および各加盟団体の適正な運営に資する各種情報収集を行い、理事会、評議員会、各種専門委員会への情報提供を行った。

〈\*主な関係団体〉

国際宗教研究所、宗教情報リサーチセンター (RIRC)、現代における宗教の役割研究会 (コルモス)、日本宗教学会、宗教倫理学会、宗教学学会、「宗教と社会」学会、教団附置研究所懇話会、政教分離の会、国際ビフレンダーズ東京自殺防止センター、部落解放・人権研究所、『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議 (「同宗連」)、同和問題にとりくむ大阪宗教者連絡会議 (大宗連)、支縁のまちネットワーク、大阪希望館、聖マーガレット生涯教育研究所 (SMILE)、宗教者災害支援連絡会 (宗援連)

※公益目的事業 キ：専門委員会、ク：研究、コ：人権啓発 に該当する事業

◆「宗教もしもし電話相談室」活動

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を自粛

※公益目的事業 ケ：相談 に該当する事業

◆宗教相互の理解と対話の促進

宗教文化の発展とより良い社会の形成を目的とし、各加盟団体間、及び神道・仏教・キリスト教・教派神道・新宗教教団等との相互理解を進め、戦争犠牲者の慰霊をはじめ「国際救援金」による国内外の援助活動など、宗教相互の理解と対話を促進する活動を実施した。

(1) 日本宗教連盟への参画

「信教の自由」の尊重と擁護並びにより良い社会形成の推進をはかるため、日本宗教連盟の構成団体として、同連盟の会合及び事業に参画した。

①理事会 (5月27日、6月30日、10月7日、令和3年3月29日)

※いずれも書面表決

②第5回「宗教法人の公益性に関するセミナー」

日 程 令和2年11月26日

会 場 オンライン

テーマ コロナ禍における宗教活動を考えるーウィズ・コロナ時代の宗教の在り方ー

講 師 館田 一博 東邦大学教授/日本感染症学会理事長

(2) 世界宗教者平和会議 (WCRP) との連携

オンラインで開催された理事会、学習会等へ参加し、交流や連携を図った。

(3) 新宗連国際救援金の運用と活用

「令和2年7月豪雨」で被災した熊本県等で救援活動を行った AMDA、同じく被災した岐阜県高山市及び下呂市の社会福祉協議会へ支援金を寄託した (青年会からの拠出分を含む)。また、新型コロナ禍における医療支援として日本赤十字社に支援金を寄託した。

(4) その他、都府県宗教連盟、宗教懇話会等へ参加した。

※公益目的事業 サ：宗教協力 に該当する事業

## 管理部門

### 1. 理事会

○第30期第7回（7月20日 書面表決）

- ・平成31年度新宗連事業報告、決算報告について、承認した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う、令和2年度事業計画の変更事項等（案）について、承認した。

○第31期第1回（8月28日 書面表決）

- ・第31期理事長、常務理事選任について、承認した。
- ・第31期名誉会長、顧問選任について、承認した。

○第31期第2回（10月8日 オンライン）

- ・令和3年度事業大綱について審議し、承認した。
- ・結成70周年記念事業大綱について審議した。

○第31期第3回（令和3年2月25日 オンライン）

- ・令和3年度事業計画案・予算案を審議し、承認した。
- ・会員及び会費に関する規程の改定について審議した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策に基づく運営方針を審議した。
- ・次回定時評議員会開催及び、議題について審議し、承認した。

### 2. 評議員会

○第30期第5回（8月15日 書面表決）

- ・平成31年度新宗連事業報告、決算報告を行い、承認した。
- ・定款第35条の変更について、承認した。
- ・第31期役員改選について、16名の評議員、23名の理事、2名の監事を選任した。

### 3. 監査会

○令和2年度監査会（6月30日 東京都渋谷区／新宗連会館）

- ・平成31年度新宗連事業報告等並びに計算書類及びその附属明細書並びに財産目録に関する監査を行った。

### ※結成70周年記念事業

令和3年度から実施する、結成70周年記念事業の企画運営を行う特別委員会の会議を下記の通り開催した。

(1) 結成70周年特別委員会

(9月11日、10月28日、11月27日、令和3年1月7日、2月18日、3月29日)

※いずれもオンライン

## 役員等に関する事項

(令和3年3月31日現在)

役職名	氏名	就任年月日	常勤・非常勤の区分
名誉会長	深田 充啓	R2.8.28	非常勤
顧問	庭野 日鑛	R2.8.28	〃
同	新井三知夫	R2.8.28	〃
同	保積 秀信	R2.8.28	〃
理事長	岡田 泰六	R2.8.28	〃
常務理事	宮本 恵司	R2.8.28	〃
同	江口 陽一	R2.8.28	〃
同	石倉 寿一	R2.8.28	〃
同	國富 敬二	R2.8.28	〃
理事	田澤 清喜	R2.8.15	〃
同	新井 光興	R2.8.15	〃
同	嘉納 良樹	R2.8.15	〃
同	本山 一博	R2.8.15	〃
同	鉢呂 神龍	R2.8.15	〃
同	田中 庸仁	R2.8.15	〃
同	力久 道臣	R2.8.15	〃
同	飯島 法道	R2.8.15	〃
同	深田 恵子	R2.8.15	〃
同	岡野 英夫	R2.8.15	〃
同	庭野 光代	R2.8.15	〃
同	出居 徳久	R2.8.15	〃
同	北浦 幸代	R2.8.15	〃
同	藤原 裕康	R2.8.15	〃
同	佐々木孝則	R2.8.15	〃
同	中村 史郎	R2.8.15	〃
同	須田 正幸	R2.8.15	〃
同	平松 千明	R2.8.15	〃
監事	番重 賢嘉	R2.8.15	〃
同	御木 縛	R2.8.15	〃

評議員	石川 靖夫	R2.8.15	非常勤
同	眞塩陽一郎	R2.8.15	〃
同	加納 理孝	R2.8.15	〃
同	保積 敬子	R2.8.15	〃
同	齋藤賢一郎	R2.8.15	〃
同	高橋 秀典	R2.8.15	〃
同	榊原 隆三	R2.8.15	〃
同	左藤 滋光	R2.8.15	〃
同	宮坂 保徳	R2.8.15	〃
同	木村 吉宏	R2.8.15	〃
同	澤田 章好	R2.8.15	〃
同	仙波 達治	R2.8.15	〃
同	藤井 庸佐	R2.8.15	〃
同	山田 宣和	R2.8.15	〃
同	内島 康親	R2.8.15	〃
同	熊川 知長	R2.8.15	〃

## 令和 2 年度事業報告の附属明細書について

令和 2 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しない。

## 北海道総支部 事業報告書

### I. 事業方針

令和2年度は、新宗連『定款』第3条に掲げる「この法人は、信教の自由の精神を高揚し、宗教団体の公益性を支援することにより、豊かな人間性の涵養とより良い社会の形成に寄与し、もって世界平和の実現に貢献する」を目指して、諸事業を推進した。

そして、新宗連の4つのスローガン「信教の自由を守ろう」「信仰心を広めよう」「宗教協力を進めよう」「世界の平和に貢献しよう」のもと、『定款』第4条に掲げる「信教の自由の尊重及び擁護、宗教団体の宗教活動の推進、宗教団体相互の協力によるより良い社会形成の推進」に基づいて諸事業を企画し、具体的活動を実施した。(※各総支部共通/新型コロナウイルスの影響による方針変更等についてはP.1概況の通り)

※以下、各協議会役職者が、包括総支部主催の総務会、学習会等に参加したことに関する協議会活動報告は記載を省略(各総支部共通)

### II. 会議及び総支部活動

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総支部としての活動を自粛

### III. 協議会活動

<旭川地区協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<渡島・桧山地区協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<オホーツク地区協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<釧路地区協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<道央地区協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<十勝地区協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<日胆地区協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

## 奥羽総支部 事業報告書

### I. 事業方針(※各総支部共通)

### II. 会議及び総支部活動

三役会議(11月6日/4人 オンライン)

内容: 総支部、各協議会において令和3年度事業計画を作成。

### III. 協議会活動

<青森県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<秋田県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<岩手県協議会>

○岩手日報社特別号外【from 3.11 東日本大震災 岩手10年のあゆみ】への協賛  
(令和3年1月11日、3月9日、3月11日の計3回)

## 東北総支部 事業報告書

### I. 事業方針(※各総支部共通)

### II. 会議及び総支部活動

- 第1回総務会(4月8日)  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、資料の送付をもって報告承認
- 第2回総務会(10月29日/22人 オンライン)
- 青年会東北連盟との合同会議(11月15日/5人 オンライン)

### III. 協議会活動

#### <福島県協議会>

- 第9回東日本大震災物故者慰霊洋上供養会—復興への祈り  
(7月19日/4人 いわき市 江名港)
- 福島県宗教団体連絡協議会への参加
  - ・三役会への参加(7月31日/2人)
  - ・事務局引継会への参加(8月5日/4人 立正佼成会福島教会)  
内 容：福島県神社庁より新宗連福島県協議会へ事務局引き継ぎ
  - ・理事会への参加(8月28日/4人)  
内 容：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、資料の送付をもって報告承認

#### <宮城県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

#### <山形県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

## 北関東総支部 事業報告書

### I. 事業方針(※各総支部共通)

### II. 会議及び総支部活動

- 学習会(11月9日/15人 オンライン)  
テーマ：「三種の神器はなぜ剣、まが玉、鏡なのか—『モノづくり技術』から読み解く日本の国づくり—」  
講 師：下田祐紀夫/前橋工科大学客員教授、群馬工業高等専門学校名誉教授  
解脱会本部教務員  
内 容：三種の神器の由来を従来の宗教学的・文化的・民俗学的視点は別に、モノづくり技術、遺跡の発掘結果、人とモノを生かすマネジメントの視点から次の3点を読み解いた。
- 総務会(11月9日/15人、令和3年3月18日/17人 オンライン)

### III. 協議会活動

#### <茨城県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

#### <群馬県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

#### <栃木県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

#### <長野県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

#### <新潟県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

## 首都圏総支部 事業報告書

### I. 事業方針(※各総支部共通)

### II. 会議及び総支部活動

- 総務会  
(6月 書面表決、11月6日/21人 オンライン)
- 正副会長・事務局長会議  
(7月17日/4人 玉光神社、10月14日/4人、令和3年1月15日/4人、  
3月16日/4人 オンライン)
- 第55回「戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典(8.14式典)」への参列  
(8月14日/1人 千鳥ヶ淵戦没者墓苑)
- 第1回教化活動懇談会(9月18日/14人 オンライン)  
発表者：本間雅弘/PL東京中央教会長  
本山一博/玉光神社宮司  
内 容：PLと玉光神社の教義や歴史を学び、相互理解を深めた。
- 総会(11月6日/49人 オンライン ※東京都協議会受け入れ)  
テーマ：「プラスチックにおける現状と課題」  
講 師：齋藤忠夫/東北大学名誉教授、農学博士  
内 容：身近なプラスチックの問題をはじめ、環境問題について学んだ。

### III. 協議会活動

#### <神奈川県協議会>

- 神奈川県宗教連盟への参画(5月7日 会費納入のみ)
- 環境推進委員会・報告「家庭消費エネルギー対策」50冊作成(9月)  
内 容：家庭のできる省エネ対策として、教団毎に下記のテーマを選んで担当し、冊子を作成した。  
①待機電力、②照明、③冷蔵庫、④電気ポット・電気ケトル、⑤自動車、  
⑥家庭風呂
- 委員会(12月20日/12人 オンライン)

#### <埼玉県協議会>

- 常任委員会(11月12日/11人 立正佼成会大宮教会)  
内 容：①首都圏総支部総務会・学習会の報告  
②コロナ禍における各教団の現状について(意見交換)  
③今後の活動の進め方、令和3年度事業計画(案)

#### <千葉県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

#### <東京都協議会>

- 委員会(令和3年2月26日/6人 オンライン)

#### <山梨県協議会>

- 委員会(11月4日/7人 オンライン)  
内 容：令和3年度事業大綱について  
事業計画策定にあたっての補足説明  
新宗連総支部・協議会、青年会地方連盟・委員会活動  
主な会議・行事、山梨県協議会の活動計画  
新議長就任あいさつ、新任・退任・転任委員あいさつなど

## 北陸総支部 事業報告書

### I. 事業方針(※各総支部共通)

### II. 会議及び総支部活動

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を自粛

### III. 協議会活動

#### <石川県協議会>

- 臨時委員会(10月26日/5人 立正佼成会金沢教会)

内 容：次年度の県協議会と石川県宗教連盟役員について

#### <富山県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

#### <福井県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

## 中部総支部 事業報告書

### I. 事業方針(※各総支部共通)

### II. 会議及び総支部活動

- 中部総支部情報交換会(令和3年2月12日/12人 オンライン)

内 容：コロナ禍における各教団・教会の現状、信者の様子などの情報交換  
今後の総支部・協議会の在り方についての検討

### III. 協議会活動

#### <愛知県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

#### <岐阜県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

#### <静岡県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

#### <三重県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

## 近畿総支部 事業報告書

### I. 事業方針(※各総支部共通)

### II. 会議及び総支部活動

- 令和2年度総会(5月22日 書面表決)

- 総務会(6月25日 書面表決)

- 会長・事務局長会議(7月8日/2人 新宗連大阪事務所)

- 会長・事務局長・専門委員長会議(9月26日/3人 新宗連大阪事務所)

- 令和2年度臨時総会(11月20日/23人 オンライン・ホテル日航大阪)

- 学習会(11月20日/29人 オンライン・ホテル日航大阪)

テーマ：「新型コロナウイルス時代の新宗教教団のあり方」

講 師：金子 昭/天理大学おやさと研究所教授

- 正副会長・事務局長・専門委員長会議

(令和3年3月3日/4人 オンライン・新宗連大阪事務所)

- 専門委員会(令和3年3月3日/9人 オンライン・新宗連大阪事務所)

### Ⅲ. 協議会活動

#### <大阪府協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

#### <京都府協議会>

○通信学習会(8月/9人、令和3年1月/6人)

テーマ：①コロナ禍における宗教者として考えること

②信仰の喜び

内 容：個人的意見を原稿用紙2枚程度にまとめて提出

○深草墓苑慰霊祭への参加(9月12日/4人、令和3年3月13日/5人)

○委員会(令和3年2月20日/8人 立正佼成会京都普門館)

内 容：令和2年度決算案・事業報告案、令和3年度予算書案・事業計画案

#### <滋賀県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

#### <奈良県協議会>

○第17回奈良県宗教者フォーラムへの参加(9月14日/4人 春日大社)

※新型コロナ禍のため、「平和への祈り並びに疫病退散祈願祭」として実施

「平和祈願法要」厳修

#### <兵庫県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

#### <和歌山県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

## 中国総支部 事業報告書

### I. 事業方針(※各総支部共通)

### II. 会議及び総支部活動

○令和2年度全国総会受け入れ準備会議(5月26日・7月22日/各6人 オンライン)

○総務会(11月5日/23人 オンライン)

内 容：理事会の報告事項、総務会人事の承認、全国総会受け入れ検討

### Ⅲ. 協議会活動

#### <岡山県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

#### <島根県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

#### <鳥取県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

#### <広島県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

#### <山口県協議会>

○委員会(10月25日/8人、12月6日/10人 オンライン)

## 四国総支部 事業報告書

### I. 事業方針(※各総支部共通)

### II. 会議及び総支部活動

○総務会(4月20日 書面表決、11月5日/15人 オンライン)

○事務局長連絡会議(令和3年3月12日/4人 オンライン)

### Ⅲ. 協議会活動

<愛媛県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<香川県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<高知県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<徳島県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

## 九州総支部 事業報告書

### Ⅰ. 事業方針(※各総支部共通)

### Ⅱ. 会議及び総支部活動

○企画委員会(10月17日/12人、12月10日/12人、令和3年3月8日/11人  
オンライン・立正佼成会福岡教会)

○総務会(11月5日/24人 オンライン)

### Ⅲ. 協議会活動

<大分県協議会>

○役職者顔合わせ(11月14日/8人)

内容：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を自粛したが、役職者の入れ替わりがあったので、顔合わせを行った。

<沖縄県協議会>

○沖縄宗教者の会定例会への参加(6月18日 立正佼成会沖縄教会)

内 容：第30回祈りと平和の集いについて

<鹿児島県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<北九州地区協議会>

○臨時委員会(8月7日/5人 立正佼成会小倉教会)

内 容：令和2年度下半期の事業計画の確認と新年度役職者の選出

○委員会(11月12日/4人)

内 容：総務会の報告、令和3年度の活動について

<熊本県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<佐賀県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<筑後地区協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<筑豊地区協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<長崎県協議会>

○第48回原爆殉難者慰霊祭実行委員会への参加

(6月24日・8月27日 立正佼成会長崎教会)

○第48回長崎原爆殉難者慰霊祭への参列(8月8日 長崎原爆落下中心地公園)

※長崎県宗教者懇話会主催、内容・人員縮小で開催

<福岡地区協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛  
＜宮崎県協議会＞

○委員会(4月7日／6人 立正佼成会宮崎教会)

内 容：新年度役職者について

○第15回「水と緑の森林づくり」県民ボランティアの集い参加

(11月14日／20人 宮崎市阿波岐原森林公園)

内 容：環境への取り組み、植林活動

以 上